

司学館高等学校

学習計画表

—後期—

注意

- 内容をよく読んでから、履修科目を登録すること。
- ふだん学習するときも、常にそばに置いて、必要な時に確認し、自学・自習を円滑に進めること。
- 学習するときの注意や、評価のポイントなどは、担当の先生からの指示にも従うこと。わからないことがあれば、すぐに質問・相談すること。

学習計画表 もくじ

国語演習－②	【1】
言語文化	
歴史総合	【2】
日本の文化を学ぶ	
政治・経済	【3】
倫理	
新聞を読む	【4】
数学演習－②	
数学Ⅰ－②	【5】
科学と人間生活－②	
地学基礎－②	【6】
生物基礎－②	
保健B	【7】
体育A－②	
体育B－②	【8】
体育C－②	
音楽Ⅱ	【9】
書道Ⅰ	
英語演習－②	【10】
英語コミュニケーションⅠ－②	
論理・表現Ⅰ－②	【11】
家庭基礎－②	
情報Ⅰ	【12】
近江の偉人	
琵琶湖と環境	【13】
東近江大風	
総合的な探究の時間について	【14】
進路のガイドライン	【15】
ライフデザインC	
司学館講座 テーマと内容	【16】
学習するとき気をつけてほしいこと	【17】
レポートの中間メ切について	【18】
学校でのスクーリングとメディア・スクーリングの関係	【19】
スクーリングの受け方の例	【20】
成績評定・観点別学習状況の評価	【21】

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	1年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
国語	国語演習－②	桂田	(ねらい) 文章を味わい理解する力を定着させるため、短編の現代文を読みこむことで基礎力を養う。							

〈レポート〉 まじめに計画的に取り組むこと。文章をよく読んでから、課題に取り組むこと。
誤字・脱字の無いように気を付けること。ていねいさのないレポートは、再提出とします。

〈スクーリング〉 真剣な態度がない、また周囲の迷惑になっている生徒については、出席と認めません。
毎回、課題プリントの作成と提出を求め、評価の対象とします。テキスト・レポートを持ってくること。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容	
1	二十一世紀に 生きる君たちへ (司馬遼太郎)	漢字 言葉の意味 類義語・対義語 指示語 副詞の修飾 敬語表現	〈1〉	<div> <div>学校 での スクー リング</div> <div>メデ ィア スクー リング</div> </div>	指示語と指示内容
2		漢字 言葉の意味 類義語・対義語 指示語 副詞の修飾 敬語表現			
3		漢字 言葉の意味 類義語・対義語 指示語 畳語			
4	洪庵のたいまつ (司馬遼太郎)	漢字 言葉の意味 類義語・対義語 指示語 副詞の修飾 文章読解	〈2〉	<div>メデ ィア スクー リング</div>	比喩表現
5		漢字 言葉の意味 類義語・対義語 指示語 比喩表現 文章読解			
6		漢字 言葉の意味 指示語 比喩表現 敬語表現 文章読解 要約			

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	2年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
国語	言語文化	明石 誠	(ねらい) 現代文(随筆・小説・詩歌)、古文(入門・随筆・詩歌・物語・紀行)、漢文(入門・漢詩・論語)などに広く親しみ言語文化への理解を深める							

〈レポート〉 ・レポートを隅々まで見ること。教科書参照。
・丁寧に書き込むこと。提出メ切を守ること。。

〈スクーリング〉 ・スクーリング授業に参加する場合は、スマホなどの機器を触らないこと。周囲に迷惑をかけないこと。私語厳禁。
・丁寧に書き込むこと。提出メ切を守ること。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容	
1	古文	月の異名 十二支 歴史的仮名遣い 重要古語	〈1〉	<div> <div>学校 での スクー リング</div> <div>メデ ィア スクー リング</div> </div>	・古文基礎知識 ・古文に親しむ ・漢文基礎知識 古文(入門) 古文の冒頭 漢文(入門)
2	古文	冒頭部分と作品名・作者名・成立時代 【竹取物語・枕草子・源氏物語・方丈記・ 平家物語・徒然草・奥の細道】			
3	漢文	故事成語 二字熟語の構成 四字熟語 訓読の基本			
4	漢文	書き下し文 漢詩 論語 重要漢語	〈2〉	<div>メデ ィア スクー リング</div>	・漢文に親しむ ・現代文に親しむ 漢文(漢詩・論語) 現代文(随筆・小説) 現代文(短歌・俳句・詩)
5	現代文 随筆 小説	さくらさくら 俵万智 「美しい」ということ 赤木明登 とんかつ 三浦哲郎 雨漏りの音 長嶋有			
6	現代文 詩歌 小説	柳あをめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た 高村光太郎 羅生門 芥川龍之介 夢十夜 夏目漱石			

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	2年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
地理 歴史	歴史総合	中西	(ねらい) 日本の歴史と世界の歴史を関連付けながら、過去のできごとについて学び、現代抱えている様々な問題が「いつ」「どこで」「どのように」生じたのかをさぐる。							

- <レポート>

 - 文字を丁寧に書きましょう。また、教科書に漢字で書いてある語句については、漢字で書いていないと×とします。
 - チャレンジ問題は教科書に答えが載っていないものですが、ぜひチャレンジしてください。
- <スクーリング>

 - レポート同様、文字を丁寧に書きましょう。
 - プリントの最後まで集中して取り組みましょう。特に、最後の感想が書けていない場合は再提出してもらいます。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	歴史の舞台 ＜世界の歴史＞	東アジア 南アジア 東南アジア 西アジア ヨーロッパ アメリカ大陸 アフリカ大陸	<1>	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div> <div>第一次世界大戦</div> <div>第一次世界大戦の背景 第一次世界大戦の展開 第一次世界大戦の影響</div>	
2	近代化と私たちⅠ	18世紀の世界と東アジア 産業革命 アヘン戦争 日本の開国 開国後の日本社会 日本開国期の国際情勢 市民革命と国民統合			
3	近代化と私たちⅡ	明治維新 富国強兵 文明開化 帝国主義 日本の明治初期の外交 大日本帝国憲法の制定 日本の産業革命 日清戦争 日露戦争 韓国併合			
4	国際秩序の変化や 大衆化と私たちⅠ	大衆運動の芽ばえ 第一次世界大戦 ロシア革命とその影響 社会運動の広がり 国際協調 アジアの民族運動 大量生産・消費	<2>	<div>メディアスクーリング</div> <div>第二次世界大戦まで</div> <div>第一次世界大戦後の世界 第二次世界大戦の背景</div>	
5	国際秩序の変化や 大衆化と私たちⅡ	世界恐慌 独裁勢力の台頭 日本のアジア侵出 第二次世界大戦 戦後国際秩序 冷戦の始まり 日本の戦後改革と日本国憲法 日本の独立			
6	グローバル化と 私たち	第三世界の登場 冷戦の展開 地域統合 55年体制と安保闘争 高度経済成長の光と影 ベトナム戦争とアメリカ 経済構造の変化 など			

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	3年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
地理 歴史	日本の文化を学ぶ	上山	(ねらい) 日本の文化や伝統をとらえなおし、日本のすばらしさを知ること。							

- <レポート>
 評価の上で、次の4点を重視する。

 - 計画的に学習しているか？
 - 自分の考えが書けているか？
 - ていねいに書けているか？
 - 調べ学習において、しっかりと調べてあるか？
- <スクーリング>
 評価の上で、次の2点を重視する。

 - スクーリング中、集中できているか？
 - スクーリング中に配付する課題をきちんとこなせているか？

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	飛鳥文化 白鳳文化	仏像・建築物・工芸品など	<1>	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div> <div>仏教</div> <div>仏教の簡単な話 仏像から見る仏教 仏像の見方</div>	
2	天平文化 弘仁・貞観期の文化	仏像・建築物・工芸品など			
3	国風文化 院政期の文化	文学・仏教思想・絵画			
4	鎌倉文化 室町文化	鎌倉仏教・建築・芸能・絵画	<2>	<div>メディアスクーリング</div> <div>神仏習合 (しんぶつしゅうごう)</div> <div>仏教の話 神道のはなし 神仏習合とは</div>	
5	安土・桃山文化 寛永期の文化	城郭(じょうかく)・絵画			
6	元禄文化 化政文化	絵画・学問・文学			

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	3年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
公民	政治・経済	福山	(ねらい) 民主主義の本質、政治や経済、国際関係を理解し、良識ある公民となることをめざす。							

〈レポート〉 いいかげんにやっているレポート・字が乱雑なレポートは やりなおし。

〈スクーリング〉 ふまじめな人、態度の悪い人、まわりのめいわくになる人は 欠席にする。
プリントを提出しなかった人、提出してもできが悪い人は 欠席にする。

No.	レポートのテーマ・単元内容	No.	スクーリングのテーマ・単元・内容
1	日本国憲法の基本原理	〈1〉	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div> 議院内閣制
2	日本の政治制度と政治参加(1)		
3	日本の政治制度と政治参加(2) 日本の外交と国際社会での役割		
4	経済主体と市場の働き(1)	〈2〉	<div>メディアスクーリング</div> 消費税
5	経済主体と市場の働き(2) 現代の日本経済と福祉の向上(1)		
6	現代の日本経済と福祉の向上(2) 国際経済の動向と課題		

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	3年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
公民	倫理	住友	(ねらい) 人間を尊重する精神に立って、人間のあり方や生き方を考え、人格を高める。							

〈レポート〉 いいかげんにやっているレポート・字が乱雑なレポートは やりなおし

〈スクーリング〉 ふまじめな人、態度の悪い人、まわりのめいわくになる人は 欠席にする。
プリントを提出しなかった人、提出してもできが悪い人は 欠席にする。

No.	レポートのテーマ・単元内容	No.	スクーリングのテーマ・単元・内容
1	ソクラテス プラトン アリストテレス	〈1〉	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div> キリスト教 イエスの ことばから
2	イエス ゴータマ		
3	孔子 孟子 荀子 老子 莊子		
4	ベーコン デカルト カント	〈2〉	<div>メディアスクーリング</div> 仏教 ブッダの ことばから
5	キルケゴール ニーチェ ヤスパース ハイデッガー		
6	サルトル パース ジェームズ デューイ		

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	1年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
公民	新聞を読む	住友	(ねらい) 新聞に慣れ親しみ、身近な情報源にしよう。							

〈レポート〉	すべてのレポートに〈スクラップ 課題〉（新聞の切り抜き）がある。 新聞がない人は、職員室で新聞を提供します。
〈スクーリング〉	ふまじめな人、態度の悪い人、まわりのめいわくになる人は 欠席にする。 プリントを提出しなかった人、提出してもできが悪い人は 欠席にする。

● この科目は教科書はありません

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	四コマ マンガ		<1>	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div>	テストについての説明 〈スクラップ課題〉Aについて
2	新聞広告	※〈スクラップ 課題〉(新聞の切り抜き)があります。やらなければ必ず やりなおし。			新聞記事の構成について ※ テストでは 〈スクラップ課題〉をつかって提出してもらいます。
3	川柳	※〈スクラップ 課題〉は ◆注意◆を守ってやらなければ必ず やりなおし。 ※ネット記事の切り抜きは禁止。			※ できが不十分なら、不合格になります。
4	見出し	※切り抜きや はりつけは、ていねいに美しく仕上げること。	<2>	<div>メディアスクーリング</div>	テストについての説明 〈スクラップ課題〉Bについて
5	写真記事	※新聞がない人は、職員室で新聞を提供します。			記事になるかならないか ～ ニュースの価値判断 ～
6	投書				※ テストでは 〈スクラップ課題〉をつかって提出してもらいます。 ※ できが不十分なら、不合格になります。

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	1年次	レポート	6枚	スクーリング	3回
数学	数学演習一②	足立	(ねらい) 数の計算、文字式の計算について理解し、高校の数学を学ぶにあたって必要とされる基礎学力定着と、数学に対する苦手意識の克服をめざす。							

- レポートでは、計算の過程を消さずに残しておくこと。答えが正解でも計算過程が記述されていない場合は再提出になることがある。
- スクーリングで使う課題プリントは、評価の対象とするので毎回必ず指示とおりに完成すること。
- 理解できない内容は必ず質問をして、わからないままにしておかないこと。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	文字式/ 1次方程式	代入 等式の性質 1次方程式	<1>	<div> <div>学校 での スクー リング</div> <div>メデ ィア スクー リング</div> </div> 連立方程式 1次方程式の解き方 連立方程式の解き方 加減法と代入法	
2	1次方程式の解法	移項 1次方程式の解き方 1次方程式の利用			
3	連立方程式	連立方程式 代入法と加減法 連立方程式の利用	<2>	<div> <div>学校 での スクー リング</div> <div>メデ ィア スクー リング</div> </div> 1次関数 グラフ用紙の見方 座標の見方と打ち方 グラフの書き方 ※ この時間は 定規が必要なので わすれずに持ってくる こと	
4	1次関数(1)	座標 1次関数の傾きと切片 1次関数のグラフ			
5	1次関数(2)	直線の式 直線とx軸、y軸との交点 2直線の交点	<3>	<div>メデ ィア スクー リング</div> 三平方の定理 三平方の定理の証明 三平方の定理の利用 三平方の定理の逆 ※ この時間は のりとはさみが必要 なので わすれずに持ってくる こと	
6	三角形の性質	三角形 三平方の定理 三平方の定理の利用			

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	2年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
数学	数学Ⅰ－②	村田	(ねらい) 三角比、図形と計量、数と式、データの分析について、数学Ⅰで定められている知識の習得と計算能力の向上を図る。上位学校の入学試験に対する基礎学力を習得する。							

- レポートは、計算の過程を消さずに残しておくこと。答えのみ記入され、計算の過程（筆算もふくむ）が記入されていないレポートは受理せず再提出とする。
- スクーリングで配る課題プリントは、評価の対象とするので毎時間後に必ず提出すること。
- 希望者には試験用練習問題を配布します。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	直角三角形と三角比	相似な三角形 三平方の定理 三角比 ($\sin \cdot \cos \cdot \tan$) の定義	<1>	<div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div>	三角比 三角比の定義 ($\sin \cdot \cos \cdot \tan$) 三角比の表 30°, 45°, 60°の三角比 三角形の面積
2	三角比の利用	三角比の表 三角比の利用 三角形の面積			
3	三角比の性質	鈍角の三角比 三角比の相互関係 正弦定理と余弦定理			
4	集合と論証	集合と要素 命題と真偽	<2>	<div>メディアスクーリング</div>	三角比 度数分布表 ヒストグラム 四分位数 箱ひげ図
5	度数分布表と代表値	度数分布表とヒストグラム 代表値 (平均値, 中央値, 最頻値)			
6	データの散らばりと相関	四分位数と箱ひげ図 散布図と相関			

教科	科目	担当	単位	1単位	年次	1年次	レポート	3枚	スクーリング	4回
理科	科学と人間生活－②	円城	(ねらい) 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。							

- <レポート> ●読めない文字を書いて提出した場合は、不正解とする。
●課題にとりくまない、または、ザツにとりくんだと思わせるレポートは再提出とする。
- <スクーリング> ●持ち物：教科書、筆記具、スクーリングを受ける「やる気」。
●スクーリングのおわりに、プリントの提出を求める。できが不十分な場合、欠席とする。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	ヒトの生命現象	・タンパク質のはたらき ・遺伝子とDNA ・血糖濃度と糖尿 ・ヒトの視覚	<1>	<div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div>	タンパク質と遺伝子 ・タンパク質のはたらきとDNAのはたらき
2	微生物とその利用	・微生物 ・発酵 ・微生物の利用	<2>	<div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div>	微生物とその利用 ・微生物 ・発酵と腐敗
			<3>	<div>メディアスクーリング</div>	身近な自然景観と自然災害 ・自然災害と防災
3	地球や宇宙の科学	・日本列島の景観 ・自然災害 ・太陽系	<4>	<div>メディアスクーリング</div>	身近な天体と太陽系における地球 ・太陽系の構造と天体

教科	科目	担当	単位	Ⅰ単位	年次	2年次	レポート	3枚	スクーリング	4回
理科	地学基礎②	円城	(ねらい) 日常生活や社会との関連をはかりながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高める。地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。							

- 〈レポート〉

 - 読めない文字を書いて提出した場合は、不正解とする。
 - 課題にとりくまない、または、ザツにとりくんだと思わせられるレポートは再提出とする。
- 〈スクーリング〉

 - 持ち物：教科書、筆記具、スクーリングを受ける「やる気」。
 - スクーリングのおわりに、プリントの提出を求める。できが不十分な場合、欠席とする。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	宇宙と地球	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙と太陽の誕生 ・太陽系と地球の誕生 	〈1〉	<div> <div> 学校 での スクー リング </div> <div> メデ ィア スクー リング </div> </div> 宇宙の始まり <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の膨張 ・太陽の一生 	
2	生物の変遷と地球環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地層と化石 ・地球と生物の変遷 	〈2〉	<div> <div> 学校 での スクー リング </div> <div> メデ ィア スクー リング </div> </div> 太陽系 <ul style="list-style-type: none"> ・地球の誕生 ・太陽系 ・生命の惑星 	
			〈3〉	<div> <div> メデ ィア スクー リング </div> </div> 生物界の遷移 <ul style="list-style-type: none"> ・化石 ・地質時代の区分 	
3	地球の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境の科学 ・季節の変化 ・天気図の記号 	〈4〉	<div> <div> メデ ィア スクー リング </div> </div> 地球の気象 <ul style="list-style-type: none"> ・地球で吹いている風の変化 ・風による気象の変化 ・天気図 	

教科	科目	担当	単位	Ⅰ単位	年次	3年次	レポート	3枚	スクーリング	4回
理科	生物基礎②	土田	(ねらい) 日常生活や社会との関連をはかりながら、生物や生物現象への関心を高める。生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。							

- 〈レポート〉

 - 読めない文字を書いて提出した場合は、不正解とする。
 - 課題にとりくまない、または、ザツにとりくんだと思わせられるレポートは再提出とする。
- 〈スクーリング〉

 - 持ち物：教科書、筆記具、スクーリングを受ける「やる気」。
 - スクーリングのおわりに、プリントの提出を求める。できが不十分な場合、欠席とする。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	ヒトのからだの調節	<ul style="list-style-type: none"> ・からだの調節と情報の伝達 	〈1〉	<div> <div> 学校 での スクー リング </div> <div> メデ ィア スクー リング </div> </div> 体内環境と自律神経系 <ul style="list-style-type: none"> ・恒常性と体内環境 ・自律神経系の働き 	
2	免疫	<ul style="list-style-type: none"> ・自然免疫と獲得免疫 ・免疫と疾病と医療 	〈2〉	<div> <div> 学校 での スクー リング </div> <div> メデ ィア スクー リング </div> </div> ホルモンと自然免疫 <ul style="list-style-type: none"> ・ホルモンの働き ・自然免疫 	
			〈3〉	<div> <div> メデ ィア スクー リング </div> </div> 獲得免疫 <ul style="list-style-type: none"> ・獲得免疫のしくみ ・免疫疾病と医療 	
3	生物の多様性と生態系	<ul style="list-style-type: none"> ・植生と遷移 ・バイオーーム 	〈4〉	<div> <div> メデ ィア スクー リング </div> </div> 植生とバイオーーム <ul style="list-style-type: none"> ・植生と遷移 ・遷移とバイオーーム 	

教科	科目	担当	単位	Ⅰ単位	年次	2年次	レポート	3枚	スクーリング	2回
保健 体育	保健B	大久保	(ねらい) 個人および社会生活における健康・安全について理解を深める。生涯を通じて、自らの健康を適切に理解し、改善していく資質や能力を培う。							

- <レポート>
 ① 完成度
 ② 提出日を守る
 ③ ていねいに書く
 などを総合的に評価する
- <スクーリング>
 ① 教科書・筆記用具を持ってくる
 ② 参加態度を重要視します
- <メディア・プリント>
 ① 完成度
 ② 提出日を守る
 ③ ていねいに書く
 ④ 問題に必ず取り組む
 など総合的に評価する
- <履修について>
 この「保健B」を履修できるのは
 前籍校で「保健」をⅠ単位のみ修得した人だけ
 本校で「保健A」を履修した人は
 この「保健B」を履修できない

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	生涯を通じる健康	思春期と健康 性意識の変化と性行動 など	〈1〉	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div> 働くことと健康問題 <div> ① 働くことと健康 ② 労働災害の防止 ③ 働く人の健康づくり </div>	
2		結婚生活と健康 妊娠・出産 家族計画 など			
3	健康を支える環境づくり	大気汚染・水質汚濁・土壌汚染と健康 など	〈2〉	<div>メディアスクーリング</div> 保健・医療・医薬品の制度とその活用 <div> ① 保健行政の仕組み・サービス ② 医療制度と医療保険 ③ 医療機関と適切な活用方法 ④ 医薬品の種類と使い方 </div>	

教科	科目	担当	単位	Ⅰ単位	年次	Ⅰ年次	レポート	Ⅰ枚	スクーリング	5回
保健 体育	体育A-②	山口	(ねらい) 自己の身体に気付き、体調を整えたり、仲間と交流したりする体ほぐしの意義とやり方を理解する。また、自己の体力やその高め方について実践的に理解する。							

- <学校でのスクーリング>

●〈1〉〈2〉は実技。見学は不可。(履修者の人数により、内容を変更する場合がある。)

●体操服(運動のできる服装)を必ず持参すること。忘れた者は見学扱いとなる。

●安全のため、ピアス・ネックレス・指輪・時計・つけ爪などは、**はずして参加すること。(できない場合は、参加を認めない)**

●3回以上出席が認められない場合は、不合格となります。

●学校でのスクーリングに参加し、一定の評価を残さなければ、通知表(評定5)はつきません。

- <レポート>
 <メディア・スクーリングプリント>

●完成度、提出日を守る、ていねいに書く、などを総合的に評価する。

●実際に**動画を見ながら**体操などいくつかの**種目に取り組む必要**がある。

●内容は変更の場合がある。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容	
Ⅰ	スポーツの発祥と発展	1. オリンピック・パラリンピックと国際社会 2. スポーツの経済的効果とスポーツ産業 3. スポーツに求められる高潔さ 4. 陸上競技	〈1〉	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div> 体育について <div>・注意事項などの確認 ・ストレッチング など</div>	
			〈2〉		
			〈3〉	<div>メディアスクーリング</div> フライングディスク <div>・歴史 ・ディスクの受け方、持ち方、投げ方等の個人技能</div>	
			〈4〉		
			〈5〉		

教科	科目	担当	単位	Ⅰ単位	年次	2年次	レポート	Ⅰ枚	スクーリング	5回
保健 体育	体育B-②	大久保	(ねらい) 自己の能力に応じて運動技能を高めるなど、運動に親しむための学び方について理解する。							

〈学校でのスクーリング〉

- 〈1〉〈2〉は実技。見学は不可。(履修者の人数により、内容を変更する場合がある。)
- 体操服(運動のできる服装)を必ず持参すること。忘れた者は見学扱いとなる。
- 安全のため、ピアス・ネックレス・指輪・時計・つけ爪などは、はずして参加すること。(できない場合は、参加を認めない)
- 3回以上出席が認められない場合は、不合格となります。

〈レポート〉〈メディア・スクーリングプリント〉

- 完成度、提出日を守る、ていねいに書く、などを総合的に評価する。
- 実際に動画を見ながら体操などいくつかの種目に取り組む必要がある。
- 内容は変更の場合がある。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容	
Ⅰ	運動・スポーツの 学び方	① 効果的な動きのメカニズム ② 体カトレーニング ③ 運動やスポーツでの 危険予知と安全確保 ④ 卓球	〈1〉	<div> <div>学校 での スクー リング</div> <div>メデ ィア スクー リング</div> </div>	体ほぐしとトレーニング ・ 体育での諸注意 ・ 体操や動きのコントロール など
			〈2〉		トレーニングと予防・卓球 ・ 運動での危険予知と安全確保 ・ 卓球の歴史 など
			〈3〉	<div>メデ ィア スクー リング</div>	卓球 ・ 施設や用具 ・ 基本技術 など
			〈4〉		卓球 ・ 基本技術(サービス) ・ ゲーム(シングルス)の進め方 など
			〈5〉		運動やスポーツの学び方 ・ 体カトレーニング など

教科	科目	担当	単位	Ⅰ単位	年次	3年次	レポート	Ⅰ枚	スクーリング	5回
保健 体育	体育C-②	山口	(ねらい) 自己の身体に気付き、体調を整えたり、仲間と交流したりする体ほぐしの意義とやり方を理解する。また、自己の体力やその高め方について実践的に理解する。							

〈学校でのスクーリング〉

- 〈1〉〈2〉は実技。見学は不可。(履修者の人数により、内容を変更する場合がある。)
- 体操服(運動のできる服装)を必ず持参すること。忘れた者は見学扱いとなる。
- 安全のため、ピアス・ネックレス・指輪・時計・つけ爪などは、はずして参加すること。(できない場合は、参加を認めない)
- 3回以上出席が認められない場合は、不合格となります。
- 学校でのスクーリングに参加し、一定の評価を残さなければ、通知表(評定5)はつきません。

〈レポート〉〈メディア・スクーリングプリント〉

- 完成度、提出日を守る、ていねいに書く、などを総合的に評価する。
- 実際に動画を見ながら体操などいくつかの種目に取り組む必要がある。
- 内容は変更の場合がある。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容	
Ⅰ	スポーツの 発祥と発展	1. オリンピック・パラリンピックと 国際社会 2. スポーツの経済的効果と スポーツ産業 3. スポーツに求められる高潔さ 4. 陸上競技	〈1〉	<div> <div>学校 での スクー リング</div> <div>メデ ィア スクー リング</div> </div>	体ほぐしと卓球 ・ 体育での諸注意 ・ 体操 ・ 卓球について など
			〈2〉		卓球 ・ 体操 ・ 個人技能 ・ ゲーム(ダブルス) など
			〈3〉	<div>メデ ィア スクー リング</div>	サッカー ・ 歴史、特性、 ・ 基本技術 … キック など
			〈4〉		サッカー ・ 個人技能 ・ その他競技(フットサル)
			〈5〉		スポーツ推進 1. 日本のスポーツ推進 2. 世界のスポーツ推進 など

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	2年次	レポート	6枚	スクーリング	8回
芸術	音楽Ⅱ	西川	(ねらい) 世界の音楽と、我が国の音楽の文化について学ぶ。また、基礎となる楽典を学習し、簡単な楽譜が読めるようになる。世界の名曲を聴き、鑑賞の能力を伸ばす。							

- 〈レポート〉 ●教科書で調べて分かる範囲については、しっかり書けているかどうか?を評価の基準にします。
- 〈スクーリング〉 ●真剣な態度がない。または周囲の迷惑になる生徒については、出席と認めません。
- 毎回、課題プリントの提出を求めます。ていねいに書いて、メ切を守ること。
- 完成度などを総合的に評価する。
- 配付するプリントもテスト範囲になります。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容	
1	西洋音楽史より		〈1〉	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div> 西洋音楽 ロマン派(表題音楽)	
2			〈2〉		西洋音楽 ロマン派(国民楽派)
3	楽典		〈3〉	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div> 楽典 音程	
3			〈4〉		楽典 調号と主音
4	世界のさまざまな音楽と魅力		〈5〉	<div> <div>メディアスクーリング</div> </div> 日本の音楽 日本音楽史	
5			〈6〉		オーケストラの楽器 楽器の種類と音色
6	現代音楽		〈7〉	<div> <div>メディアスクーリング</div> </div> オペラの世界 はじめましてオペラです	
6			〈8〉		オペラの世界 オペラ「トゥーランドット」

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	3年次	レポート	6枚	スクーリング	8回
芸術	書道Ⅰ	桂田	(ねらい) 中学校までに学習した、書写能力をさらに高めるとともに、書写と書道の違いを理解させ、書のさまざまな表現を通して、書に対する理解を深める。							

- 〈レポート〉 ● 計画的な提出ができているか、レポートの文字が正確に、ていねいに書けているかを重視します。
- ていねいさのないものは、やりなおしになります。
- 〈スクーリング〉 ● 毎回 実技課題の提出があります。できるだけ 2時間続きで出席すること。
- 真剣に取り組まなければ、出席を認めません。
- つぎのものを必ず持つてくること(なければ出席できません)。
- 芯の柔らかい鉛筆 → 筆ペンかサインペン → レポート
- (シャープペンシルでは課題を作成できません)

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容	
1	書道入門	書とはどのような芸術なのか 書写と書道の違い	〈1〉	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div> 書道入門 書とはどのような芸術なのか 書写と書道の違い 書体について	
2		漢字の書体の変遷 楷書の洗練と書風の展開 北魏・隋	〈2〉		
3	漢字の書	完成期の楷書 唐の四大家を中心として それぞれの書風	〈3〉	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div> 漢字の書(楷書) 楷書 書体の確認 基本の運筆・用筆 臨書 唐の四大家を中心として	
3			〈4〉		
4	漢字の書	行書 その成立と特徴について 蘭亭序(王羲之)・風信帖(空海)	〈5〉	<div> <div>メディアスクーリング</div> </div> 漢字の書(行書) 行書 書体の確認 基本の運筆・用筆 臨書 蘭亭序	
5		仮名 その成立と仮名の美の要素 「高野切」	〈6〉		
6	漢字仮名交じりの書	表現の工夫(用具用材、構成など) 創作(漢字と仮名の調和)	〈7〉	<div> <div>メディアスクーリング</div> </div> 仮名の書 仮名 書体の確認 基本の運筆・用筆 単体と連綿 散らし書き	
6			〈8〉		

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	1年次	レポート	6枚	スクーリング	8回
外国語	英語演習－②	松藤	(ねらい) 代名詞や名詞の複数形、be動詞や一般動詞などの英語の基礎に重点をおき、コミュニケーション英語Ⅰへ向けてステップアップを目指します。							

- <レポート>

 - レポート内のヒントを見て自分で頑張って取り組んでください。
 - be動詞や一般動詞は英語の基礎です。疑問詞から始まる疑問文まで難易度が上がりますが、わからなければ聞いてください。
- <スクーリング>

 - 二回目のbe動詞や一般動詞は英語の基礎です。わからなければ何度も見てください。
 - メディアプリントを動画で見る人は、特に三回目の疑問詞から始まる疑問文は最後までスキップせず見て理解に努めてください。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容	
1	代名詞	代名詞の種類と「格」について	<1>	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div>	代名詞 代名詞の役割や使う場面について 代名詞の格変化の表を覚える
2	名詞、人称	名詞の単数と複数について (複数形の作り方) 人称について			名詞 数えられる名詞と数えられない名詞(複数形の作り方) 人称とは
3	be動詞について	be動詞の現在形と過去形の使い方 be動詞の肯定文・否定文・疑問文	<2>	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div>	be動詞 文の種類 / be動詞の使い分け方 be動詞を使った肯定文・否定文・疑問文
4	一般動詞について	一般動詞の現在形と過去形の使い方 一般動詞の肯定文・否定文・疑問文			一般動詞 一般動詞の現在形と過去形の使い方 一般動詞を使った肯定文・否定文・疑問文
5	進行形について	現在形と過去形の進行形の使い方 進行形を使った肯定文、否定文、疑問文	<3>	<div>メディアスクーリング</div>	進行形 進行形の形:現在形と過去形 進行形の肯定文・否定文・疑問文
6	疑問詞について	疑問詞から始まる疑問文の作り方 疑問詞から始まる疑問文の答え方			疑問詞 疑問詞から始まる疑問文 その答え方
			<4>	<div>メディアスクーリング</div>	助動詞 いろいろな助動詞の形 助動詞を使った文
					文型 5文型の基本 <1>～<4>のまとめ

教科	科目	担当	単位	1単位	年次	2年次	レポート	3枚	スクーリング	4回
外国語	英語コミュニケーションⅠ－②	大平	(ねらい) これまでの学習を確認し、高校英語へとステップアップできるよう基礎を中心に組みつつ、英語への興味関心を高めることを目的とする。							

- <レポート>

 - レポート以外にも教科書のTargetを利用して勉強すること。
 - レポートに取り組むときには、必ずレポート内の「ヒント」を読んでから始めること。
- <スクーリング>

 - スクーリングには、必ず教科書・筆記用具を持参すること。全てのスクーリングで教科書を使います。
 - スクーリングの練習問題に取り組んでいないと再提出になるので、必ず取り組むこと。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容	
1	Lesson.7	比較表現	<1>	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div>	Lesson.7 比較表現 原級・比較級・最上級の使い方
2	Lesson.8	現在完了形		<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div>	Lesson.8 現在完了形 肯定文・否定文・疑問文の作り方
			<3>	<div>メディアスクーリング</div>	Lesson.10 関係代名詞 主格と目的格の関係代名詞
3	Lesson.10	関係代名詞		<div>メディアスクーリング</div>	Lesson.9 長文を読む 単語や表現を学ぶ 文中の代名詞が指す内容を理解する 内容理解

教科	科目	担当	単位	1 単位	年次	3 年次	レポート	3 枚	スクーリング	4 回
外国語	論理・表現 I ー②	松藤	(ねらい) アウトプットを工夫しながら、言いたいことを英語で表現できるようにする							

〈レポート〉 ● ページ数を見て、教科書を見ながらレポートに取り組んでください。わからないところは必ず聞いてください。

〈スクーリング〉 ● レポートの問題をスクーリングで説明していますが、わからないところは登校したときに聞いてください。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容	
1	Lesson 4	未来表現：will / be going to	〈1〉	<div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div>	Lesson 4 ・未来をwillとbe going toを使って表現できるようにする
2	Lesson 11	不定詞：名詞的用法 動名詞	〈2〉	<div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div>	Lesson 11 ・不定詞の名詞的用法と動名詞の使い分けができるようにする
			〈3〉	<div>メディアスクーリング</div>	Lesson 12 ・不定詞の副詞的用法と形容詞的用法の使い分けができるようにする
3	Lesson 12	不定詞：副詞的用法、形容詞的用法	〈4〉	<div>メディアスクーリング</div>	Lesson 14 ・滋賀県を外国の方に紹介するプレゼンを作る ・後期試験に向けて復習します

教科	科目	担当	単位	2 単位	年次	2 年次	レポート	3 枚	スクーリング	3 回
家庭	家庭基礎ー②	立岡	(ねらい) 家庭科はくらしの感性をみがく教科です。自分をとりまく家族や社会に目を向け、充実した人生に必要な知識技術を身につけましょう。							

- レポートは、教科書に基づいて作っています。教科書を何度も読み返しましょう。
- スクーリング時は、必ず教科書、筆記用具を持参し、相当する内容のレポートに目を通しておいください。
- 家庭科は他の教科との関連が大きいので合わせて学習してください
(自分で調べる問題も少しあります。インターネットや辞書を利用して学習を深めてください)。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容	
1	食生活のマネジメント	五大栄養素の基礎知識 加工食品・その他の食品 食品の選択と取り扱い	〈1〉	<div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div>	食品の選択と取り扱い 食の安全、安心を考える 持続可能な食生活を目指して 現在の食生活を見直してみる
2	住生活のマネジメント	生活行為に適した住空間のあり方 快適な住居の基礎知識	〈2〉	<div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div>	住まいの条件 物件情報を読み取るための 基礎知識
3	衣生活のマネジメント	被服の役割 繊維の基礎知識 気持ちよく着る工夫	〈3〉	<div>メディアスクーリング</div>	健康で快適な衣生活をつくろう 被服についての表示を理解し 快適な衣生活に役立てる

教科	科目	担当	単位数	2単位	年次	1年次	レポート	6枚	スクーリング	6回
情報	情報Ⅰ	小梶	(ねらい) 問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識および技能を身に付け、実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。							

- レポートは、ヒントやポイントを参考に、教科書をよく読んで取り組みましょう。
- スクーリングでは、毎回プリントを提出してもらいますので必ず筆記用具を持参しましょう。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容	
1	情報社会	情報とその特性 メディアとその特性	〈1〉	<div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div>	情報モラル 情報とは / 著作権について 情報の受信と発信について
2	情報社会	知的財産権 情報モラル	〈2〉		信頼できる情報とは 情報の偏り 批評的な読み解き
3	情報デザイン	コミュニケーションとメディア プレゼンテーション	〈3〉		情報通信ネットワークの活用と コミュニケーション コミュニケーションの手段を選択しよう 効果的なコミュニケーションを考えよう
4	プログラミング	コンピュータ アルゴリズム プログラム	〈4〉	<div>メディアスクーリング</div>	情報を伝える① 情報の伝わりかたを学ぼう
5	ネットワークの活用	情報通信ネットワーク インターネット 情報システム データの活用	〈5〉		情報を伝える② ピクトグラムとは 情報の伝え方を学ぼう
6	ネットワークの活用	データの種類 データの分析	〈6〉		プログラミング 問題解決の手順 プログラミングとは プログラミングに挑戦しよう

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	3年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
郷土学習	近江の偉人	上山	(ねらい) 郷土で活躍した人物の生き方について調べたことと関わらせて、自己の生き方を見つめる。							

〈レポート・テスト〉 教科書・副読本はありません。したがって、インターネットか図書館で調べるしかありません。
レポートは期末試験に使用するので、なくさないようにすること。

〈スクーリング〉 評価の上で、次の2点を重視する。 ●スクーリング中、集中できているか？
●スクーリング中に配付する課題をきちんとこなせているか？

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	中江藤樹 近江聖人と呼ばれた陽明学者	〈1〉	<div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div>	中江藤樹 近江聖人と呼ばれた陽明学者	
2	井伊直弼 彦根藩主・幕府の大老という二つの顔を持つ。 名君？暴君？				
3	伊藤忠兵衛 近江商人の筆頭				
4	ウィリアム・メレル・ヴォーリズ 日本で数多くの西洋建築をてがけた建築家	〈2〉	<div>メディアスクーリング</div>	レポート解説 テストについて レポートの中でまちがいがいやすいところを解説する	
5	土川平兵衛 命をかけて領民をまもった天保義民				
6	糸賀一雄 社会福祉の父				

教科	科目	担当	単位	2単位	年次	3年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
理科	琵琶湖と環境	土田	(ねらい) 調べた資料を正確に読み取り、まとめる力を養う。 琵琶湖に対する理解を深めることが目的ではないので注意すること。							

- <レポート>
 - 読めない文字を書いて提出した場合は、不正解とする。
 - 課題にとりくまない、または、ザツにとりくんだと思わせられるレポートは再提出とする。
- <スクーリング>
 - 持ち物：筆記具、スクーリングを受ける「やる気」。
 - スクーリングのおわりに、プリントの提出を求める。できが不十分な場合、欠席とする。

No.	レポートのテーマ・単元内容		No.	スクーリングのテーマ・単元・内容	
1	なりたち	【レポートの概要】 レポート全体の取組みが不十分な場合は再提出となる。 この科目は総合力を養う。 次のような作業が中心である。 ① 図や表から読み取れることを文章化する ② 文章を読み必要な情報をまとめる(図式化することを含む) 教科書や副読本は用意していない。 辞書・資料・インターネットなどを使って調べる作業がある。	<1>	課題製作 予行練習① <div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div>	【スクーリングの概要】 課題レポートの題材提供、調べ学習のやり方、レポートのまとめ方について、要点を絞り実施する。 図表の読み方、文章のまとめ方などは、演習形式で行うことを考えている。
2	固有種と外来種			<2>	【試験方法】 琵琶湖に関することで一枚の課題レポートを作成・提出したものを、期末試験として評価する。 提出課題の用紙は指定する。 ※ペーパーテストは実施しない。
3	絶滅した生物				
4	ヒト				
5	環境教育				
6	環境保全				

教科	科目	担当	単位数	2単位	年次	2年次	レポート	6枚	スクーリング	2回
郷土学習	東近江大風	小梶	(ねらい) 東近江大風の伝統を知り、文化の継承・発展の担い手となる。 判じもんや風の図柄を考えることで、発想力を身に付ける。							

- <レポート>

No.1～2は、補足プリントを見たり、インターネットで検索したりするなど、調べ学習が中心です。
 いろいろな資料を見て、勉強を進めましょう。
 No.3～6は、東近江大風の特徴の1つである判じもんについて、具体的に考える問題です。
 レポートのはじめに例がありますので、例をよく見て取り組みましょう。
自分で考えることが多いので、ゆっくり時間をとって、取り組みましょう。

No.	レポートのテーマ・内容		No.	スクーリングのテーマ・内容	
1	東近江大風の歴史 東近江大風の特徴	東近江大風の歴史や特徴について学ぶ	<1>	<div> <div>学校でのスクーリング</div> <div>メディアスクーリング</div> </div> 東近江大風について 東近江大風について学ぶ ※ 特に、特徴の1つである「判じもん」について、詳しく見ていきます	
2	東近江大風の名称 (判じもんについて)	東近江大風の特徴を学ぶ これまでの東近江大風の判じもんを調べる			
3	判じもんを学ぼう	判じものの成り立ちを考える			
4	判じもんを学ぼう	判じものの成り立ちを考える	<2>	<div>メディアスクーリング</div> 大風会館の見学 大風会館を動画で見学する ・ 東近江大風の歴史を学ぶ ・ 色々な風を見て、判じもんを考える ヒントを得る ・ 日本各地、世界各国の風を見る	
5	判じもんを学ぼう	判じものの成り立ちを考える			
6	判じもんを学ぼう	いろんな言葉を絵で表し、それを使って風の図柄を考える			

「総合的な探究の時間」について

卒業までに 3～12 単位を履修してください。
メディア・スクーリングはありません。必ず学校でのスクーリングに出席すること。
遅刻・欠席すれば、単位を修得できません。
テストはありません。

総合的な探究の時間は、司学館講座と、それ以外の講座の2種類あります。

●司学館講座について

6人の先生が、1人1時間ずつ担当します。

<1・3年次生>

6時間のうち 3時間 出席して、毎回 レポート課題を提出します。
提出した課題が合格すれば 1単位 修得できます。

<2年次生>

提出したレポート課題が合格すれば、単位を修得できます。
6時間のうち 3時間 出席して 合格すれば 1単位 修得できます。
6時間とも出席して 合格すれば 2単位 修得できます。

→ どれに出席するかを選んで、登録します(登録用紙に記入)。

●それ以外の講座について

「進路のガイドライン」「ライフデザインC」 があります。
くわしい内容は、学習計画表を読んでください。

総合 探求	講座	担当	単位数	1単位	年次	1年次	レポート	3枚	スクーリング	3回
	進路の ガイドライン	村田	(ねらい) 通信制高校で生活するにあたって、目標の決め方や勉強の仕方を学び、進路に活かす。							

- 〈レポート〉 ● スクーリングのときにくばります。
● できが いいかげんな レポート・字が 乱雑な レポートは 再提出。

- 〈スクーリング〉 ● 遅刻した人は入室禁止(つまり欠席となる)。3回とも出席しないと不合格。
● ふまじめな人、態度の悪い人、まわりのめいわくになる人は、欠席にする。
● **メディア・スクーリングはありません**

No.		レポート・スクーリングのテーマ・内容								
1	〈1〉	学校での スクーリング	(通信制高校の強みを活かそう①) 通信制高校の利点を認識する。この授業では主に進学するために必要なことを知り、有用な勉強法を学ぶ。							
2	〈2〉	学校での スクーリング	(通信制高校の強みを活かそう②) この授業では主に就職に有用な資格を学ぶ。学生期間に取得できるものを知り、目標設定できるようにする。							
3	〈3〉	学校での スクーリング	(目標達成のために) 第1回と第2回で定めた目標について、具体的なスケジュールリングと勉強法を学ぶ。							


総合 探求	講座	担当	単位数	1単位	年次	2年次	レポート	3枚	スクーリング	3回
	ライフデザインC	住友	(ねらい) 労働法についての基礎知識を修得し、主体的な進路選択の一助とする。							

- 〈レポート〉 ● スクーリングのときにくばります。
● できが いいかげんな レポート・字が 乱雑な レポートは 再提出。

- 〈スクーリング〉 ● 遅刻した人は入室禁止(つまり欠席となる)。3回とも出席しないと不合格。
● ふまじめな人、態度の悪い人、まわりのめいわくになる人は、欠席にする。
● **メディア・スクーリングはありません**

No.		レポート・スクーリングのテーマ・内容								
1	〈1〉	学校での スクーリング	労働法で保護される範囲							
2	〈2〉	学校での スクーリング	賃金・割増賃金(時間外労働)について							
3	〈3〉	学校での スクーリング	休日・休暇・労災 について 解雇について							

司学館講座 テーマと内容

担当	テーマ	内容	ねらい
住友	あなたなら どうわけますか？	 <p>どうすれば ケーキを 公平・公正に わけられるか？ けっこう おずかしい 問題です アリストテレスに きいて みましょう</p>	<p>アリストテレスの 正義論を もとに 公平さ・公正さについて かんがえる</p>
土田	生存戦略 ～私、紅葉します～	植物は、なぜ紅葉するのか。 そのような生物の変化を生存戦略という観点から 学習します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物ってすごいなと感じる ・ 何気ない変化に違和感を持つ ・ 今年は紅葉を楽しむ
大平	海外の国を 知ろう 「イタリア編」	歴史・芸術・文化など多くの魅力を持つイタリアを 紹介します。 イタリアの基本的な情報から始まり、観光地などについて お話しします。	他国の文化や景観の違いを知り、 海外の国に興味を持つ
福山	授業中の眠気を 覚ます方法	授業中、うとうと眠くなってしまったことは ありませんか？ 日頃の生活習慣を振り返り、その原因や 対処法について考えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃の生活習慣を振り返り、 見直す ・ 授業中、眠くなった時の 対処法を知る
足立	数独を解こう	パズルゲームの1つに「数独(すうどく, ナンプレ)」という ものがあります。書店などの雑誌コーナーに 懸賞パズルとして見た人もいるかもしれません。 ルールをしっかりと理解し、数学的に考えることで 解くことができるので、チャレンジしてみませんか。	パズルゲームを通じて数学的な 思考力を養い、数学を身近に 感じられるようにする
立岡	自立のはなし	18歳で成人となり、高校を卒業したら社会的には おとなになります。将来ひとり立ちするために 知っておきたいことをいくつか紹介します。	これからの未来に向けて 自立する準備を始める

学習するとき気をつけてほしいこと

★ 学校でのスクーリング

- ① 遅刻をしないこと！ → 遅刻 2回で 1回の欠席 になります。遅刻が多いと不合格になるので、注意すること。
- ② 教科書・レポート・筆記用具をわすれない！ → わすれものをしたら、減点されることもあります。
筆記用具は、貸し出ししていません。事務室で、消しゴム付き鉛筆（1本20円）を販売しています。
- ③ 真剣に取り組む！ → 数少ないスクーリングですので、まじめに受けましょう。
私語・スマホ・居眠りなど、スクーリングを妨げる行為はやめましょう。
指導に従わない人は、欠席にすることもあります。
- ④ 体育の実技について → 実技の時間には、必ずジャージを用意すること。
わすれた人は、見学の扱いになります。
※体育館シューズは貸し出しできます（自分で持ってきててもかまいません）

→ ケガを防ぐため、ピアス・ネックレス・アクセサリー・時計などは
はずすこと。
- ⑤ 公共交通機関が遅れたときは → JRや近江鉄道などが遅れて、スクーリングに間に合わないときは、
まず学校に電話して指示を受けること。

→ 交通渋滞で、自動車の送迎が遅れた場合は、自己責任となります。
ギリギリではなく、時間に余裕をもって登校してください。

★ メディア・スクーリング

- ① まじめに視聴すること！ → リラックスして視聴するのは かまいませんが、スクーリングですので、
気を抜かずに集中してとりくむこと。
- ② 課題をしあげること！ → 課題（スクーリング・プリント）は、なるべく100%にしあげること。
いいかげんな できのプリントは、再提出や不合格になります。
- ③ メ切を守ること！ → あとまわしにすると、量がたまって、視聴しきれなくなります。
プリントを提出しなかったり、再提出せずに最終メ切をこえたりしたら、
出席とは認められません。

★ レポート

- ① しっかり管理すること！ → レポートを雑に扱う人は、不合格になることが多いです。
字はていねいに書くこと。また、破ったり、汚したり、しわだらけにしたり
しないように。それから、くれぐれも なくさないように。
- ② 計画的に学習すること！ → メ切ギリギリまで やらない人は、不合格になることが多いです。
メ切を守りましょう。
- ③ レポートのやり方 → 難しい問題があったら、学校で先生に教えてもらいましょう。
他人のレポートを写したり、人に書いてもらったり、絶対しないように。
指導に従えない人は、メ切の前でも不合格にします。
- ④ 提出について → レポートは、必ず本人が提出してください。
他人のレポートを代わりに提出してはいけません。

中間メ切までに 提出・合格しないと いけないレポートの枚数

国語演習－①	3
現代の国語	
地理総合	
日本史探究	
日本の文化を学ぶ	
公共	
倫理	
新聞を読もう	
現代の課題	
数学演習－①	
数学Ⅰ－①	
数学A	
科学と人間生活－①	2
地学基礎－①	
生物基礎－①	
保健A	3
体育A－①	※ 中間メ切 なし
体育B－①	
体育C－①	
音楽Ⅰ	3
英語演習－①	
英語コミュニケーションⅠ－①	
論理・表現Ⅰ－①	2
家庭基礎－①	
情報リテラシー	3
近江の偉人	
琵琶湖と環境	
東近江大風	
司学館講座	
志望動機を考えよう	※ 中間メ切 なし
日本の美を探究する	
	2

国語演習－②	3
言語文化	
歴史総合	
日本の文化を学ぶ	
政治・経済	
倫理	
新聞を読もう	
数学演習－②	
数学Ⅰ－②	
科学と人間生活－②	
地学基礎－②	2
生物基礎－②	
保健B	
体育A－②	※ 中間メ切 なし
体育B－②	
体育C－②	
音楽Ⅱ	3
書道Ⅰ	
英語演習－②	
英語コミュⅠ－②	2
論理・表現Ⅰ－②	
家庭基礎－②	
情報Ⅰ	3
東近江大風	3
近江の偉人	
琵琶湖と環境	
司学館講座	※ 中間メ切 なし
進路のガイドライン	
ライフデザインC	

学校でのスクーリング と メディア・スクーリング の関係

— を学校で受けたら
メディアで受けなくてよい

	学校でおこなう スクーリング	メディアで受けられる スクーリング	何回分の出席点？	
			学校と メディアで 受けたら	全部 メディアで 受けたら
国語演習－②	<1>	<1> <2>	2回	1回
言語文化				
歴史総合				
日本の文化を学ぶ				
政治・経済				
倫理				
新聞を読もう				
数学演習－②	<1><2>	<1><2> <3>	3回	1.5回
数学Ⅰ－②	<1>	<1> <2>	2回	1回
科学と人間生活－②	<1><2>	<1><2> <3><4>	4回	2回
地学基礎－②				
生物基礎－②				
保健B	<1>	<1> <2>	2回	1回
体育A－②	<1><2>	<1><2> <3><4><5>	5回	3回
体育B－②				
体育C－②				
音楽Ⅱ	<1><2><3><4>	<1><2><3><4> <5><6><7><8>	8回	4回
書道Ⅰ				
英語演習－②				
英語コミュⅠ－②	<1><2>	<1><2> <3><4>	4回	2回
論理・表現Ⅰ－②				
家庭基礎－②	<1><2>	<1><2> <3>	3回	1.5回
情報Ⅰ	<1><2><3>	<1><2><3> <4><5><6>	6回	3回
東近江大風	<1>	<1> <2>	2回	1回
近江の偉人				
琵琶湖と環境				
司学館講座 進路のガイドライン ライフデザインC HR	} メディア・スクーリングが ありません 全部 学校のスクーリングだけで受けること			

- ★ 全部メディア・スクーリングで受けた場合、認められる出席点は上限があります（文部科学省のルールで決まっています）。上限を超えた分は出席になりません。
- ★ 総合探求やHRはメディア・スクーリングがないので、全部 学校のスクーリングだけで受けること。

学校で受けたスクリーニングを
メディアで受けても
出席点にはなりません

スクーリングが全部で2回の科目 (例) 国語演習・歴史総合・数学Ⅰ など

	<1>	<2>
学校	受けた	なし
メディア		受けた

2回分の出席点

	<1>	<2>
学校	受けた	なし
メディア		

1回分の出席点

	<1>	<2>
学校		なし
メディア	受けた	

1回分の出席点

	<1>	<2>
学校		なし
メディア	受けた	受けた

1回分の出席点

スクーリングが全部で3回の科目 (例) 家庭基礎 など

	<1>	<2>	<3>
学校	受けた	受けた	なし
メディア			受けた

3回分の出席点

	<1>	<2>	<3>	
学校	受けた		なし	} 2.5回分の 出席点
メディア		受けた	受けた	

	<1>	<2>	<3>	
学校	受けた		なし	} 2回分の出席点
メディア			受けた	

	<1>	<2>	<3>
学校			なし
メディア	受けた	受けた	受けた

1.5回分の出席点

スクーリングが全部で4回の科目 (例) 科学と人間生活 など

	<1>	<2>	<3>	<4>	
学校	受けた	受けた	なし	なし	} 4回分の 出席点
メディア			受けた	受けた	

	<1>	<2>	<3>	<4>	
学校	受けた	受けた	なし	なし	} 2回分の 出席点
メディア					

	<1>	<2>	<3>	<4>	
学校			なし	なし	} 2回分の 出席点
メディア			受けた	受けた	

	<1>	<2>	<3>	<4>
学校			なし	なし
メディア	受けた	受けた	受けた	受けた

2回分の出席点

スクーリングが全部で5回の科目 (例) 体育B・体育C など

	<1>	<2>	<3>	<4>	<5>	
学校	受けた	受けた	なし	なし	なし	5回分の 出席点
メディア			受けた	受けた	受けた	

	<1>	<2>	<3>	<4>	<5>	
学校	受けた	受けた	なし	なし	なし	} 3回分の 出席点
メディア			受けた			

	<1>	<2>	<3>	<4>	<5>	
学校			なし	なし	なし	} 3回分の 出席点
メディア			受けた	受けた	受けた	

	<1>	<2>	<3>	<4>	<5>	
学校			なし	なし	なし	} 3回分の 出席点
メディア	受けた	受けた	受けた	受けた	受けた	

スクーリングが全部で8回の科目 (例) 音楽Ⅰ・書道Ⅰ など

	<1>	<2>	<3>	<4>	<5>	<6>	<7>	<8>	
学校	受けた	受けた	受けた	受けた	なし	なし	なし	なし	} 8回分の 出席点
メディア					受けた	受けた	受けた	受けた	

	<1>	<2>	<3>	<4>	<5>	<6>	<7>	<8>
学校					なし	なし	なし	なし
メディア	受けた	受けた	受けた	受けた	受けた	受けた	受けた	受けた

} 4回分の出席点

スクーリングが全部で10回の科目 (例) 体育A など

	<1>	<2>	<3>	<4>	<5>	<6>	<7>	<8>	<9>	<10>	
学校	受けた	受けた	受けた	受けた	なし	なし	なし	なし	なし	なし	} 10回分の 出席点
メディア					受けた	受けた	受けた	受けた	受けた	受けた	

[illegible]

成績評定・観点別学習状況の評価

●成績評定について

各科目の成績は、レポート・スクーリングの学習状況、テストの成績などによって総合的に評価します。

評価は、次のように5段階で表します。

5	大変 優れている	合格（単位修得を認定）
4	優れている	
3	普通	
2	やや劣る	
1	評価の対象外	不合格（単位修得を不認定） ※期末試験が不合格
－	評価の対象外	不合格（履修を不認定） ※レポートが不合格・スクーリングが不合格

●観点別学習状況の評価について

学習状況については、成績評定だけでなく、観点別に評価したものを通知します。

次の3つの観点について、それぞれ3段階で評価します。

<知識・技能>

- ・レポートで、十分な成果をあげられたか
- ・テストで、十分な成果をあげられたか

<思考・判断・表現>

- ・レポートで学んだ知識を利用して、考え、表現できたか
- ・スクーリングで学んだ知識を利用して、考え、表現できたか

<主体的に学習に取り組む態度>

- ・レポートで、計画的に学習を進められたか
- ・レポートで、教科書以外を使った調べ学習に、しっかり取り組めたか
- ・スクーリングの出席率はどうか

A	十分 満足できる
B	おおむね満足できる
C	努力を要する

なお、次のような科目は、観点別学習状況の評価しません。

- ・単位修得できなかった科目
- ・昨年度に履修した科目を、今年度はテストのみ受験した科目
- ・前籍校での履修が認められ、テストのみを受験した科目